



## 消防団員 396 人が一致団結

4月6日、平成26年度の消防団任命式を長岡体育館で行い、新役員と新入団員に辞令を交付しました。新年度の消防団員は総勢396人。一致団結して地域を守ります。新しい任命者は次のとおりです。

市役所危機管理課  
☎ 055-948-1482

- 分団長**
- 第1分団 山田康之
  - 第2分団 野田真史
  - 第3分団 山下和晴
  - 第4分団 渡邊毅
  - 第5分団 高井一樹
  - 第6分団 彦坂吉保
  - 第7分団 酒井圭一
  - 第8分団 勝又悠
  - 第9分団 菅沼哲
  - 第10分団 古屋和義
  - 第11分団 飯田康
  - 第12分団 山中優



4月から就任した飯田団長

- 本部**
- 団長 飯田靖之
  - 副団長 原 豊
  - 本部長 木下幸直
  - 米山俊雄
  - 荻島芳明
  - ラッパ長 小早川隆行



① 26年度本部役員 ② 辞令を受ける原副団長 ③ 安全を祈願し万歳三唱 ④ 新入団員を代表し宣誓する桑高団員

- 副分団長**
- 第1分団 大竹さつき
  - 第2分団 山口隆良
  - 第3分団 西島裕也
  - 第4分団 内田航
  - 第5分団 小野修司
  - 第6分団 濱洋和
  - 第7分団 宮嶋成佳
  - 第8分団 長谷川泰之
  - 第9分団 平井賢太郎
  - 第10分団 板倉章弘
  - 第11分団 杉山秀樹
  - 第12分団 右原和摩
  - 渡邊稔

- 新入団員**
- 女性消防隊**
- 多田多美重
  - 第1分団 増島清孝、鈴木真弘
  - 第2分団 内田匠
  - 第4分団 桑高基
  - 第5分団 久保田晴
  - 第6分団 池谷深之介
  - 第7分団 水野典彦、野中義仁
  - 第8分団 上岡智尚、鈴木真、清水鍊、原彰吾、石井則章、横峰隆志、石井伶韻
  - 第9分団 山口雄樹、原直輝、杉山翔太、木口翔太、杉村嘉彦
  - 第10分団 菊地朗、古屋成彦、荻島右京、小森裕貴
  - 第11分団 相原健人、長澤遥平、長山翔平
  - 第12分団 山崎大志、木村勇哉、土屋翔、中野亮、諸伏正行、小杉健人、土方勇人

### 5月は消費者月間

#### つながろう消費者

～安全・安心なくらしのために～

高齢者の消費者被害の相談件数が増加しています。これまで被害に遭った高齢者が再び被害に遭う「二次被害」も増加傾向にあります。

高齢者の消費者被害を見つけたら消費生活相談に連絡をお願いします。

市役所市民課 ☎ 055-948-2901

### そのいっぽ みらいにつづく ゆめのみち

児童福祉週間 5月5日(月)～11日(日)

子どもや家庭、子どもの健やかな成長について国民全体で考えることを目的に、児童福祉の理念の普及・啓発のための各種事業や行事が行われています。

市役所社会福祉課 ☎ 0558-76-8008

## 手話通訳者養成 (基礎・入門) 講座 受講生募集

手話に興味がある人から通訳者を目指す人まで、手話を基礎から学ぶ講座です。毎年交互に開催していた入門講座・基礎講座を、講座時間を増やし一年間で受講できるようにカリキュラムを改正しました。

どうぞお気軽にご参加ください。



成人式などさまざまな式典で活躍

とき

5月21日  
～平成27年3月18日  
毎週水曜日 19時～21時  
40講座と講義6回

ところ

葦山福祉・保健センター  
伊豆の国市・伊豆市在住、

または両市内に勤務する18歳以上の人で、全日程の8割以上出席できる人

参加料

3150円(テキスト代)

申込み期限

5月15日(木)

伊豆の国市社会福祉協議会  
☎ 055(949)5818

## 文化財通信

その107

### 企画展「道具のうつろい展」開催中

市役所文化振興課  
☎ 055-948-1428

山郷土史料館では、8月31日(日)まで、平成26年度前期企画展「道具のうつろい展」を開催しています。

今回の企画展では、私たちの生活に欠かせないさまざまな道具に注目し、「炊く・沸かす・煮る」や、「貯える」、「盛る」、「播る」など各用途に分けた9つのテーマについて、市内で使用された道具(民具)や、市内の遺跡発掘調査で出土した遺物を中心に、現代から約1万年前の縄文時代へと遡りながら、道具のルーツを探ります。

「炊く・沸かす・煮る」のテーマでは、現代の電気炊飯器、近代の鉄鍋、鉄釜・茶釜、室町時代の土器鍋、古墳時代や縄文時代の甕や有孔罎付土器を展示しています。



縄文土器 有孔罎付き土器

土器の表面には、火を使用した跡(煤)が付いて、実際に使われたことがわかります。また、これらの土器の形や大きさの変化から、各時代



播鉢とすりこぎ

では、近代の播鉢とすりこぎのセットから、播る道具の原形となった縄文時代の石皿や磨石を展示しており、道具に用いられる材料選びの変遷をたどることができます。

史料館1階の「山木遺跡展示室」に展示している、山木遺跡の出土木製品(国重要有形民俗文化財)、2階の「伊豆の国市の歴史展示室」に展示している、旧石器時代から戦国時代の遺跡出土遺物と併せて、私たちの生活の各場面で見かけない道具の「うつろい(移ろい)」を感じていただければと思います。日々進化している道具の原点について、改めて見つめ直してみたいかがでしょうか。

山郷土史料館  
開館時間 9時～16時30分  
(水曜日は休館日)  
☎ 055(949)4127